

## 平成27年国勢調査 調査票の郵送提出状況 (民間サポート業務の実施状況)

### I 業務の概要

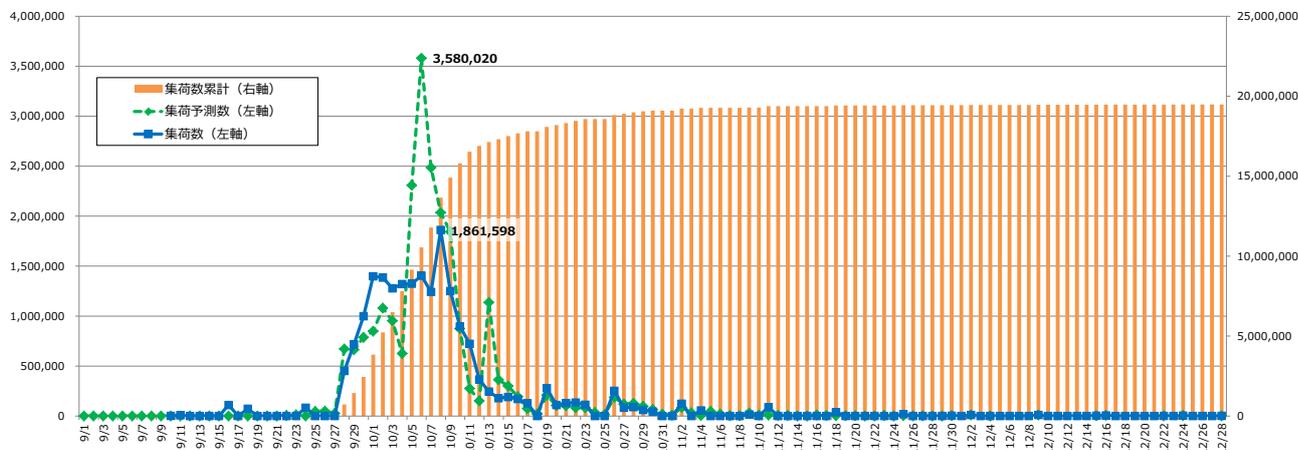
- 1 業務内容 世帯から郵送で提出された調査票を受け付け、郵送提出用封筒に印字されたQRコードの読み取りを行う。さらに、都道府県・市区町村ごとに仕分けした上で発送を行う。(詳細な工程は別紙参照)
- 2 作業期間 平成27年9月1日(火)～12月28日(月)
- 3 実施体制
  - (1) 設置拠点 東京都大手町
  - (2) 作業人数 105,746名(期間中累計)
- 4 実施状況の概況
  - 期間中全体の郵送提出通数累計 19,481,814通(平成22年比▲34.9%)
  - うち、調査票提出期限(10/7)までに提出された通数 11,794,126通(全体の60.5%)

### II 民間サポートにおける郵送提出の受付状況

#### 1 日別集荷・出荷数

- 集荷総数は19,481,814通で、平成22年(約2,993万通)比▲1,045万通(減少率▲34.9%)、予測数(約2,300万通)比84.7%となった。これを日別にみると、10月8日が1,861,598通と最も多く、9月28日～10月12日に集荷が集中している。10月12日以降は逡減している。【図1】

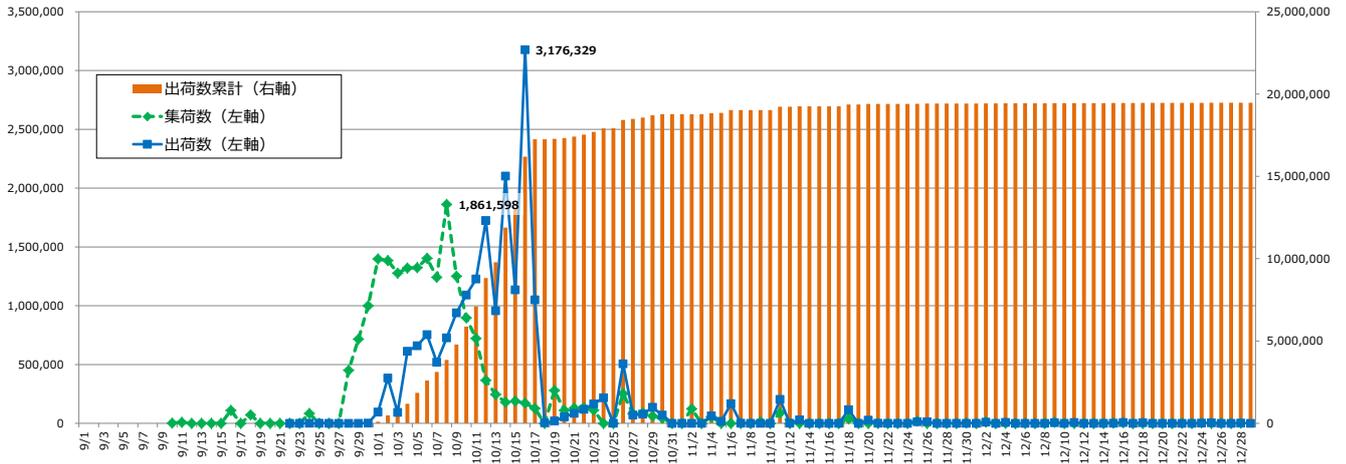
図1 日別集荷数、集荷予測数



- 出荷数（19,481,814通）を日別にみると、10月16日の3,176,329通をピークに10月2日～10月17日にかけて出荷が集中している。これを日々の集荷数と比べると、両者のピークが約1週間ずれており、10月上中旬にかけては本来到着する時期よりも早く到着したり、QRコードの無い封筒が混在していたことなどにより、出荷の遅延が生じた。【図2】

※一部、発送業者の出荷データに登録されるのにタイムラグが生じるため、実際の作業日は1日前になる。

図2 日別集荷数、出荷数

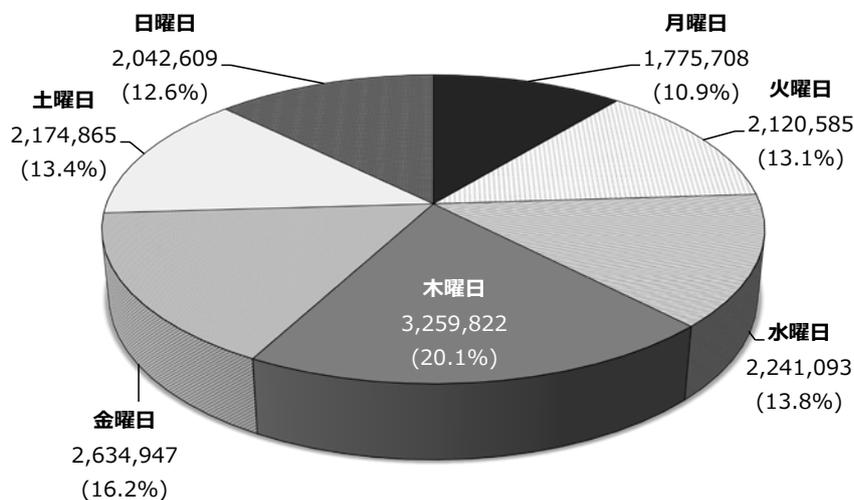


## 2 繁忙期における曜日別集荷数

繁忙期（9/28～10/11）における曜日別の集荷数をみると、木曜日が3,259,822通（繁忙期の合計に占める割合20.1%）と最も多く、次いで金曜日が2,634,947通（同16.2%）、水曜日が2,241,093通（同13.8%）などとなっている。週末に稼働している郵便局が少ないため、週の前半（月曜日・火曜日）に集荷数が多くなることが見込まれたが、この推移から世帯の投函のタイミングや調査期日が影響しているものと考えられる。具体的には、調査期日である10月1日が木曜日であり、また、当初提出期限が10月7日（水）であることから、同日に投函され、翌日以降に集荷されたものと推測される。【図3】

※ 繁忙期以外については、毎日集荷を行っていないため除外した。

図3 繁忙期（9/28～10/11）における曜日別集荷数及び割合



### 3 都道府県別集荷数

○ 集荷数を都道府県別にみると、東京都が2,662,551通（集荷総数に占める割合13.7%）と最も多く、次いで、大阪府が1,620,751通（同8.3%）、神奈川県が1,548,887通（同8.0%）などとなっている。そのほか、埼玉県、千葉県、愛知県では100万通を超えており、これらの都府県で全体の47%を占めている。概ね世帯数分布に比例する結果となった。【図4、5】

図4 都道府県別集荷数

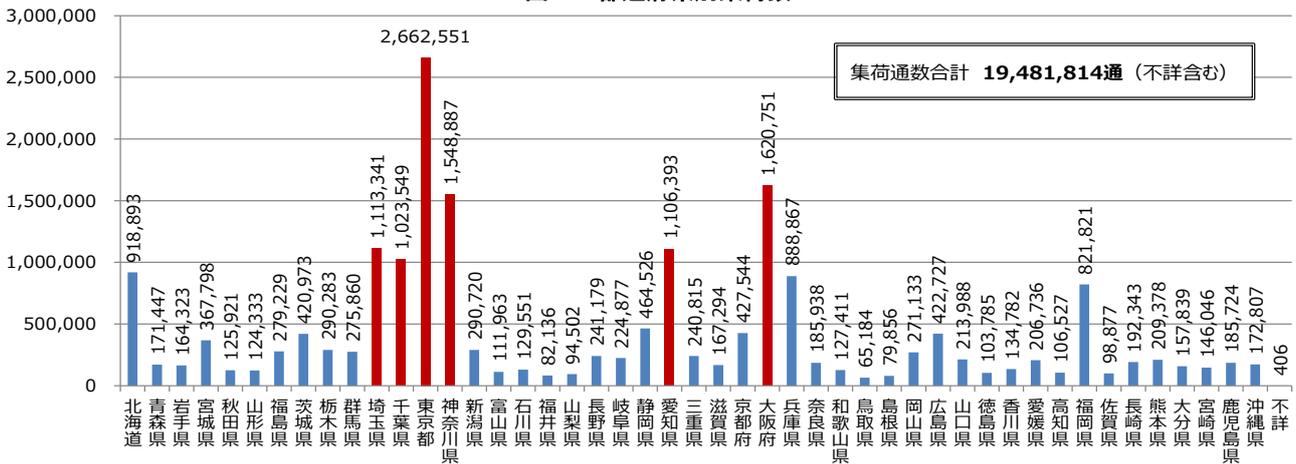
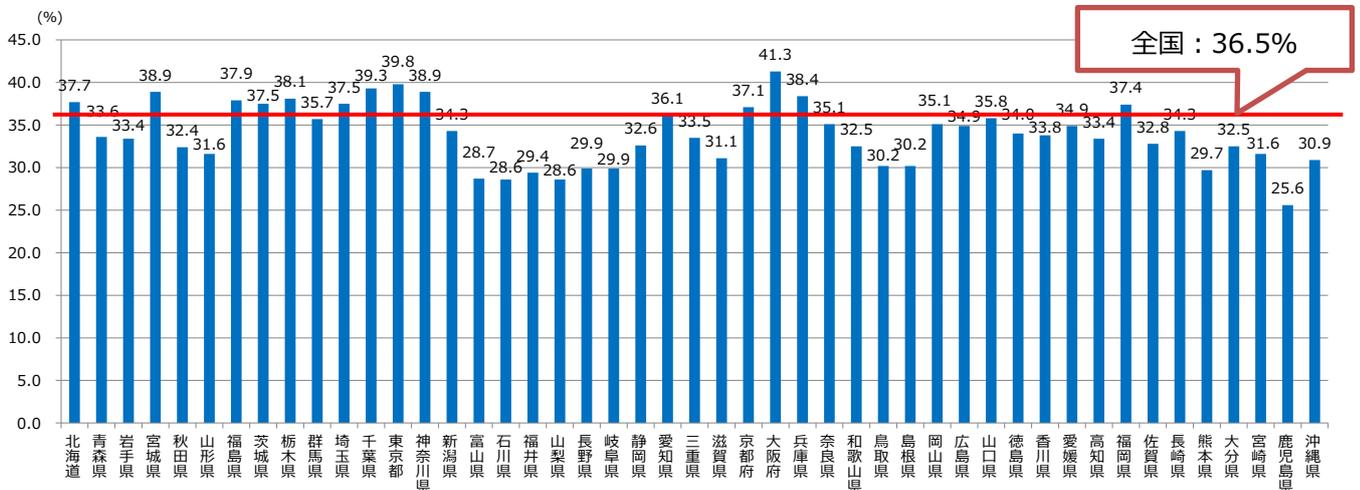


図5 都道府県別集荷割合



○ 平成27年世帯数（53,403,226世帯：速報値）に占める集荷数の割合で、郵送提出世帯の割合を推定すると、全国で36.5%となった。【図6】

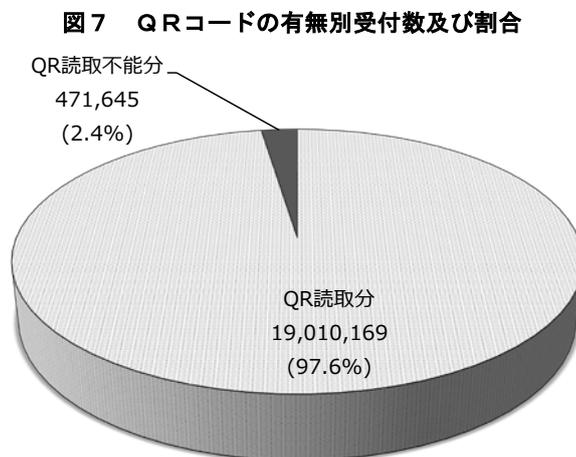
図6 都道府県別郵送提出世帯の割合（平成27年世帯数（速報値）を用いた推定値）



※集荷数には、世帯が複数回答したケースも含まれているため、集荷数＝郵送提出世帯数にはならない。

#### 4 QRコードの有無別受付数

受付数（19,481,814通）を封筒のQRコードの有無別にみると、督促用の封筒などQR読み取り不能な封筒（イレギュラー）は471,645通（総受付数に占める割合2.4%）であった。【図7】

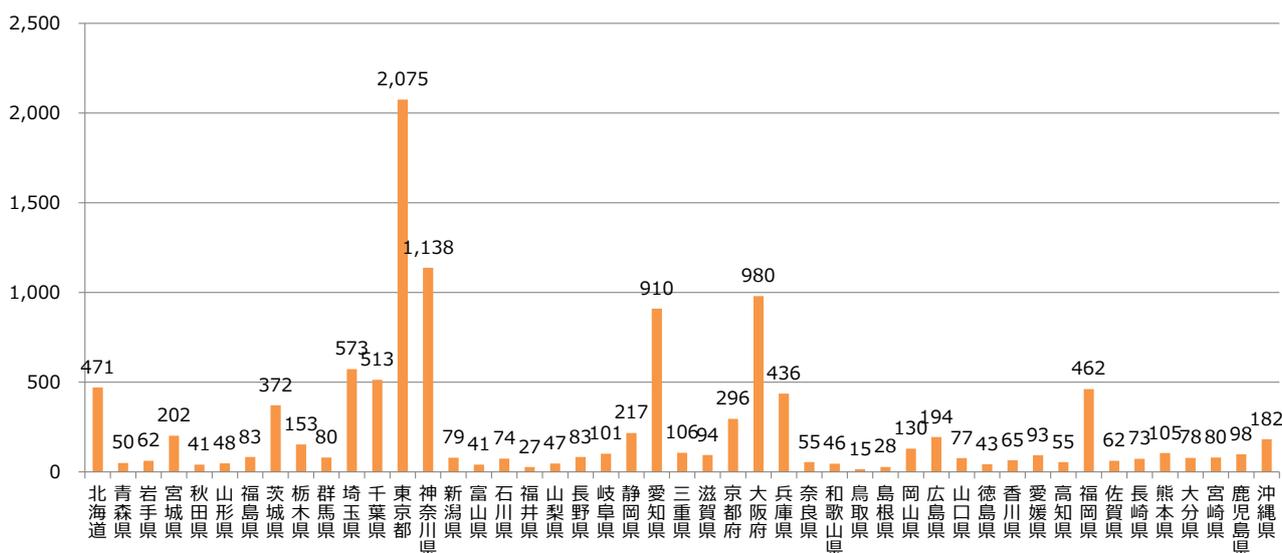


※ 本業務では、QR読み取り機の生産性を向上させるため、都道府県仕分けの工程で、封筒のQRコードの有無について確認を行っている。

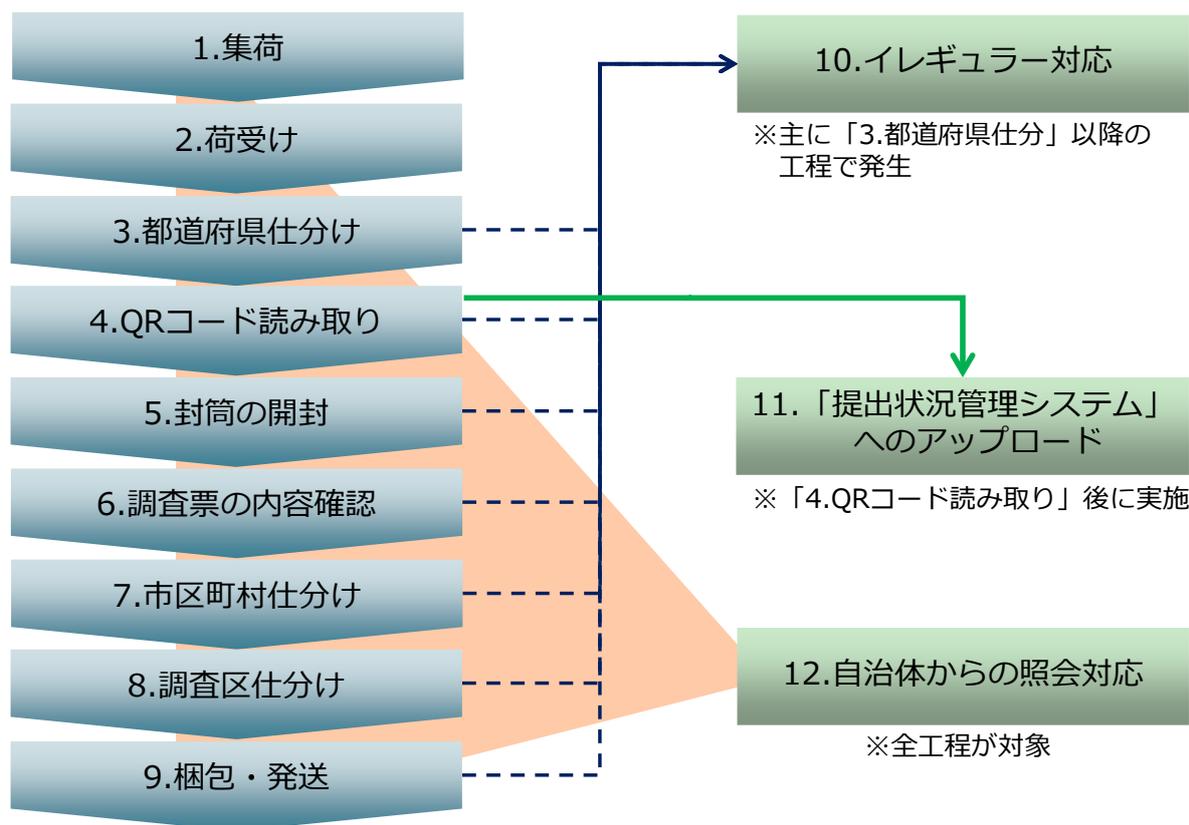
### Ⅲ 民間サポート終了後の受付数（平成28年1月以降）

平成28年1月以降、総務省にて集荷・発送を行った通数は、11,293件（2月24日現在）となっている。これを都道府県別にみると、東京都が2,075件と最も多く、次いで神奈川県（1,138通）、大阪府（980通）、愛知県（910通）などとなっている。【図8】

**図8 都道府県別集荷・出荷数（平成28年1月以降 総務省処理分）**



## 別紙 民間サポートにおける郵送提出調査票の仕分け業務フロー



- 【1 集荷】各郵便局の私書箱に到着した郵送用提出封筒について、アデコが契約した運送事業者による集荷を行う。
- 【2 荷受け】運送事業者によって集荷された郵送提出用封筒について、アデコ大手町センターにおいて荷受けを行う。
- 【3 都道府県仕分け】荷受けを終えた郵送提出用封筒について、封筒に印刷された都道府県・市区町村コード、都道府県名等により都道府県毎に仕分けを行う。
- 【4 QRコード読み取り】都道府県毎に仕分けられた郵送提出用封筒について、封筒に印刷されたQRコードの読み取りを行う。
- 【5 封筒の開封】QRコード読み取りを終えた郵送提出用封筒について、開封機を用いて封筒を開封する。
- 【6 調査票の内容確認】開封された郵送提出用封筒から、内容物を取り出し、調査票の有無、調査票の記入状況（白紙か否か）、調査票以外の同梱物の有無を確認する。
- 【7 市区町村仕分け】調査票の内容確認を終えた郵送提出用封筒について、封筒に印刷された都道府県、市区町村コード、都道府県・市区町村名により市区町村ごとに仕分けを行う。
- 【8 調査区仕分け】市区町村毎に仕分けられた郵送提出用封筒について、封筒に印刷された調査区番号により当該市区町村内で調査区順になるよう並べ替えを行う。
- 【9 梱包・発送】調査区仕分けが完了した郵送提出用封筒について、市区町村毎に梱包を行うとともに、同梱する「発送件数票」を作成・出力し発送準備を行う。また発送準備を行ったものから順次発送業者に引渡し、市区町村へ発送を行う。
- 【10 イレギュラー対応】QRコードが印字されていなかったり、都道府県・市区町村コード・調査区番号等の記入がない郵送提出用封筒について、封筒の差出人欄や調査票の調査員記入欄などから市区町村の特定を行う。
- 【11 「提出状況管理システム」へのアップロード】QRコード読み取り工程において読み取りを行った郵送提出状況データについて、「提出状況管理システム」へのアップロードを行う。
- 【12 自治体からの照会対応】アデコにおいて処理した郵送提出用封筒の処理状況や発送状況に係る自治体からの照会への対応、何らかのトラブルが生じた場合の対応を電話、メールにて行う。